

平成 30 年度 指定管理者評価表

【別紙 5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	B	B
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	90,000	69,193	20,807	76,682	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	51,703,000	51,703,000	0	55,670,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	51,793,000	51,772,193	20,807	55,746,682	
支出	人件費	18,428,000	21,493,068	(3,065,068)	19,912,623	
	事務費	1,712,000	1,072,775	639,225	941,641	
	管理費	15,348,800	13,502,722	1,846,078	12,587,950	
	自主事業経費	90,000	28,556	61,444	36,147	
	光熱水費	14,885,000	13,862,662	1,022,338	14,545,020	
	リース料	1,329,200	898,776	430,424	898,776	
	その他	0	0	0	5,830,980	
	支出総額	51,793,000	50,858,559	934,441	54,753,137	
収支差額	0	913,634	(913,634)	993,545		

3. 総合評価

自己評価

本年度は受付業務・受入業務・火葬業務において大きな事故もない一年でありました。火葬技術を向上させることによって省エネを図りました。火葬炉においても日頃の点検や手入れを行い、破損や修繕につながらないように気をつけました。施設備品についても施設の景観を損なわないように配慮しながらも、利用者の方に満足していただける備品を幾つか揃えました。今後も利用者のご意見に耳を傾け積極的な施設管理を行って参りたいと思います。

市評価

平成30年度より、霊安室の一般使用を可能としたが、大きな問題等もなく、適切な使用が図られていると認められる。
また、利用者に対するアンケート調査や事業者との連絡協議会をはじめとし、日頃よりニーズの把握に努めており、管理運営に反映しているものと認められる。平成30年度においては、敷地内に煙草の吸殻が放置されていることが目立つことについて市へ報告を行うことで吸い殻入れの設置に至る等、常に改善意識を持って管理運営に当たっていることが認められる。
その他、火葬業務、使用料徴収業務、施設維持管理等においても支障なく遂行しているものと認められる。
以上のことより、概ね事業計画に沿った管理運営がなされているものと認められる。